

異業種交流会に市内で働く青年など47人が参加



4月28日、芦別商工会議所で、一般社団法人・芦別青年会議所（佐藤祐一理事長）が異業種交流会を開催し、農業や金融業などさまざまな業種から47人が参加しました。

これは、主に市内で働く20歳代や30歳代の青年を対象にしたもので、さまざまな業種から参加を募って交

流を図り、今後の地域の活性化に結びようといわれたものです。

交流会では、芦別名物のガタタンや芦別米のおにぎりなどを立食形式で味わいながら名刺交換を行って交流を深めました。参加者は「今後もこの繋がりを大切にしていきたい」などと話していました。

大型連休に家族連れなどでにぎわい、旭ヶ丘公園夜桜ライトアップ

5月3日から5月10日まで、旭ヶ丘公園で「夜桜ライトアップ」が行われました。今年で三回目となるこのライトアップは、桜の名所としての知名度アップを図ろうと毎年行われています。今年の桜の開花時期は平年並みとなり、5月3日に開花を観測。5日には満開の見ご

ろとなりました。

好天に恵まれた大型連休前半には、家族連れなどが大勢訪れ、約1000本のエゾヤマザクラやソメイヨシノを見物。夜にはライトアップされた桜と同公園から一望できる市内の夜景の記念写真を撮ったりして楽しむ姿が見られました。



ごみをなくしてきれいなまちに、全市一斉親子クリーン作戦を実施



5月14日、市内のほぼ全域で「全市一斉親子クリーン作戦」が行われました＝写真。

この事業は、身近な場所の清掃活動を通して、きれいで住みよいまちづくりをしようと毎年行われているものです。

好天に恵まれた当日は、朝早くから家族や町内会のボランティア

グループなどが一斉に繰り出し、公園や道路わきなどに落ちているたばこの吸い殻や空き缶などのごみを拾い集めました。

参加した方は「ふだんから、みんなでごみをポイ捨てしないように気をつけて、ごみのないきれいなまちにしたいですね」などと話していました。

盛大に開催「芦別林産フェスティバル元気森森まつり」

5月20日と21日の2日間にわたって、「芦別林産フェスティバル元気森森まつり」が道の駅スタープラザ芦別前特設会場で開催されました。

これは、市内の林業関連団体主催により、林業のまち・芦別を市内内外の多くの人に知ってもらい、木に親しんでもらおうと毎年開催

されているもので、今年で14回目。

期間中は、一時にわか雨に見舞われたもののまづまづの好天に恵まれ、会場では、子どもたちが木のしおり作りや丸太切り体験に挑戦。

また、ウドやフキなどの山菜販売には行列ができるなど、会場は大勢の人たちでにぎわいました。

